

### 3. 計画の期間と目標値

本計画の期間は、平成24年度から平成28年度までの5年間とし、その後は5年ごとに見直しを行います。ただし、社会情勢の変化等状況に大きな変化が生じた場合には、必要な見直しを行います。

また、国の第2次食育推進基本計画における食育推進の目標値については、金沢の特性を生かし、金沢の実態を勘案して計画した食育を総合的、計画的に展開することにより、その達成を目指します。

#### 【参考】【国の推進基本計画目標値】

項	目	目標値（27年度）
食育に関心を持っている国民の割合の増加		現状70%を90%以上
朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の週当たりの回数		現状9回を10回以上
朝食を欠食する国民の割合	小学生 20代、30代男性	現状1.6%を0% 現状28.7%を15%以下
学校給食における地場産物を使用する割合		現状21%を30%以上
栄養バランス等に配慮した食生活を送っている国民の割合		60%以上
内臓脂肪症候群の予防や改善のための適切な食事、運動等を継続的に実践している国民の割合		現状41.5%を50%以上
よく噛んで味わって食べるなどの食べ方に関心のある国民の割合		現状70.2%を80%以上
食育の推進に関わるボランティア数の割合		現状34.5万人を37万人以上
食品の安全性に関する基礎的な知識を持っている国民の割合の増加		90%以上

#### 【参考】【金沢市における食育関連数値】

項	目	現 状
「食育」に関心がある、どちらかといえば関心がある (平成23年度金沢市市民健康意識アンケート調査)	男性	58.1%
	女性	76.3%
家族そろって朝食を週4日以上食べる (平成23年度金沢市市民健康意識アンケート調査)	男性	44.5%
	女性	46.7%
家族そろって夕食を週4日以上食べる (平成23年度金沢市市民健康意識アンケート調査)	男性	58.6%
	女性	64.0%
朝食をほとんど食べない20代、30代男性 (平成23年度金沢市市民健康意識アンケート調査)	20代	21.2%
	30代	18.9%
栄養バランスのとれた食事を常に、またはよく心がけている (平成23年度金沢市市民健康意識アンケート調査)	男性	43.9%
	女性	59.2%
メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）という言葉も意味も知っている (平成23年度金沢市市民健康意識アンケート調査)	男性	85.2%
	女性	86.8%
学校給食における地場産物を使用する割合 (平成23年度学校給食栄養報告書)		31.9%
朝食を毎日食べている小学校第6学年 (平成23年度 学力・学習状況調査報告書)		97.4%